

平成 29 年 5 月 30 日

各チーム代表者 様

平成 29 年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 熊本県ラウンド開催要項

熊本県バレーボール協会
会 長 本 松 賢
(公印省略)

- 1 開 催 趣 旨 本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会に登録するすべてのチームが、1 年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の 6 人制バレーボール最高のチームとなる榮譽を競うと同時に、バレーボール競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。
- 2 主 催 公益財団法人日本バレーボール協会
- 3 主 管 熊本県バレーボール協会
- 4 後 援 文部科学省、熊本県教育委員会、熊本県高等学校体育連盟、熊本日日新聞社
- 5 協 賛 全日本空輸株式会社、久光製薬株式会社、日清製粉グループ、日本生命保険相互会社、丸大食品株式会社、アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社
- 6 開 催 期 日 平成 29 年 6 月 11 日（日） 9 時 3 0 分 開会式
- 7 会 場 山鹿市菊鹿多目的研修集会施設 菊鹿あんずの丘多目的体育館グリーンパルス
- 8 参 加 資 格 平成 29 年度（公益財団法人）日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチームおよび選手で、熊本県バレーボール協会が推薦する下記のチームとする。
① 熊本県高等学校総合体育大会で、男女ともベスト 4 以上のチーム
② 大学・一般のチームで、28 年度 6 人制春季リーグの男女とも上位の 4 チーム
※上記のチームで出場が出来ないチームが出た場合は、原則各カテゴリーで補填を行う。
- 9 競 技 規 則 平成 29 年度 公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則、競技要項による。
- 10 競 技 方 法 3 セットマッチ、トーナメント方式で行なう。また、試合方法及び組合せは、主催者で決定する。 **※優勝チームは、九州ブロックラウンドに必ず出場すること。**
[九州ブロックラウンドは、9 月 16 日（土）～17 日（日）長崎県で開催]

- 11 使 用 球 男子はモルテン製カラーボール（V5M5000）、女子はミカサ製カラーボール（MV A300）を使用する。
なお、準決勝・決勝は、天皇杯・皇后杯大会オリジナル球を使用する。
- 12 チーム構成 チームは、部長(大学・実業団のみ)、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。
また、申込後の選手のエントリー変更は、一切認めない。(背番号の変更等も含む)
なお、各試合の役員・選手14名(2名のリベロを含む)の登録は、各試合の30分前までに定められた用紙に記載し、大会本部(エントリー係)に提出する。
監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、(公益財団法人)日本体育協会公認スポーツ指導者に基づく、公認バレーボールコーチ・公認バレーボール上級コーチ、公認スポーツ指導員(バレーボール)・公認スポーツ上級指導員(バレーボール)の有資格者とする。
- 13 申込及び締切 同封の参加申込書にMRSシステムにより出力された「選手一覧」を添えて、6月6日(火)までに必着するよう申し込むこと。(推薦されたチームで参加できない場合は、理由をご連絡下さい。)参加申込は、できるだけメールで申込して下さい。期限遅れや電話での申込は受け付けません。
※「開催要項」「参加申込書」は、協会ホームページへ掲載してありますので、ご利用下さい。
Eメールアドレス gg780131@yahoo.co.jp
【申込み・問い合わせ先】
〒863-0025 熊本県人吉市瓦屋町1120-1
熊本県バレーボール協会 競技委員長 高見 伸也
- 14 参 加 料 1チーム 8,000円(試合当日、受付で徴収いたします。)
なお、大会申込み後の棄権についても参加料は徴収します。
- 15 表 彰 等 全試合終了後、閉会式で行う。
- 16 そ の 他 ①審判については一部の試合を、補助役員については全試合を各チームに割り当てるので準備しておくこと。
② 大会参加者は、事前に健康診断を受けること。また、選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受止め十分留意すること。なお、競技中の負傷については、応急処置は行なうが、以後の責任は負わない。
③ 大会のスポーツ障害保険については、主催者で加入する。
④ チームスタッフの変更は、開会式の開始前までに競技委員長へ報告すること。
⑤会場の駐車場は、駐車スペースに限りがあるので出来るだけ乗り合わせをお願いする。

以 上